全日本ホルスタイン共進会

「酪農の町くずまき」全国へ発信

日本ホルスタイン登録協会主催の第14回全日本ホルスタイン共進会（通称「全共」）は10月23日から26日までの4日間、北海道安平町（あびらちょう）で開催され、乳牛改良の成果を競いました。当町からは9頭の乳牛が出品され、優等賞に1頭、1等賞に2頭が入賞し、酪農の町くずまきをアピールしました。

1等賞6席に入賞した折元大樹さん

八幡勝幸さんの出品牛をリードした酒多利明さん

全共は、昭和26年に初開催され、以後5年おきに行われ、乳器や体格など乳牛としての資質を競います。前回が口蹄疫（こうていえき）や東日本大震災の影響で中止だったため、今回は10年ぶりで、北海道での開催は初めてとなります。

今回の全共には、42都道府県からホルスタイン種14部門に344頭、ジャージー種4部門に30頭が出品されました。岩手県の出品枠はジャージー種を含めて30頭。当町からは、ホルスタイン種に9頭（所有者6人）が代表に選ばれ、全国トップレベルの乳牛と日本一をかけて競いました。

優等賞に八幡勝幸さん　1等賞には2頭が入賞

初日の23日は、開会式や写真撮影などが行われました。乳牛の審査は24日から始まり、大勢の酪農関係者らが真剣な眼差しで審査の行方を見守りました。

審査の結果、八幡勝幸さん所有の「ミス PV アトリー アイ」が優等賞6席に入り、町勢最高の成績を収めました。このほか、漆真下孝幸さんと折元大樹さんの所有牛が1等賞に入賞。町から出品したほかの6頭も2等賞に入賞するなど、「酪農の町くずまき」をアピールしました。

審査結果全体を見ると、北海道勢が強く、ほとんどの部門で上位を占めました。岩手県勢は優等賞に3頭、1等賞に11頭が入賞するなど健闘しました。

次回の全共は、5年後の平成32年に宮崎県で開催されます。

多回出品者として漆真下孝幸さんに表彰状

全共6回目の出場となった漆真下孝幸さんに、多回（5回以上）出品者として主催者から表彰状が贈られました。漆真下さんは昭和50年、22歳で初めて全共へ出場。以来通算6回の出場で9頭出品し、優等賞を2回獲得するなど、約40年間精力的に乳牛改良を続けています。

町勢の成績（出品9頭）

八幡勝幸さん所有牛が優等賞6席に入賞

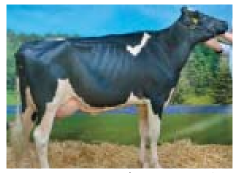
区分	部門（月齢）	出品者（敬称略）	出品牛名号	審査成績
未経産	第1部（12カ月以上14カ月未満）	折元　大樹（34歳、遠矢場）	グリーンリバー アイオーン トラディション	2等賞4席
	第4部（18カ月以上20カ月未満）	東舘　光夫（53歳、吉ヶ沢）	イーストデール アットウッド バースデー	2等賞3席
		今待　秀幸（27歳、寺　田）	ストレートファーム アットウッド アニー	2等賞7席
経　産	第6部（36カ月未満）	折元　大樹（34歳、遠矢場）	グリーンリバー ゴールド オア スピリット	1等賞6席
	第7部（30カ月未満）	八幡　勝幸（48歳、星　野）	ミス PV アトリー アイ	優等賞6席
	第9部（36カ月以上48カ月未満）	八幡　勝幸（48歳、星　野）	ピースバレー ゴールドサンダー アミー	2等賞1席
	第11部（42カ月以上48カ月未満）	漆真下孝幸（61歳、大　沢）	スノーヒル ホワイト クストン ET	2等賞3席
	第12部（4歳以上5歳未満）	藤岡　俊策（66歳、田　代）	ドリームランチ ラッキー アド RED	2等賞13席
	第13部（5歳以上6歳未満）	漆真下孝幸（61歳、大　沢）	スノーヒル インカ サンチェス	1等賞2席

インタビュー

町勢最高の「優等賞6席」入賞

八幡 勝幸さん
（48歳・星野）

私自身、全共への出場は初めて。県の代表として十分に準備をして挑みました。全国トップレベルの乳牛を目の当たりにし、北海道のレベルの高さを肌で感じました。次の全共に向けて、若い人たちが中心になり、もっと勉強し、技術改良にも取り組み、岩手県出場枠の半分以上を確保できるよう頑張りたいです。


ミス PV アトリー アイ

多回（5回以上）出品者表彰を受賞

昭和50年から通算6回出場
漆真下 孝幸さん
（61歳・大沢）

全共にこれまで6回出場できたのは、多くの関係者の皆さんのおかげで大変感謝しています。乳牛改良は一人の力ではできません。これからも若い方々と一緒に技術改良に取り組んでいきたいと思います。

岩手県の出品者の皆さん